

会 議 概 要

| ●開催概要 | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 名 称 | 新バスシステムに関する説明会（礎地域コミュニティ協議会） |
| 日 時 | 平成25年11月7日（木）午後7時から午後9時10分 |
| 場 所 | 生涯学習センター 5階 交流ホール2 |
| 説明者 | 新潟市都市政策部新交通推進課、都市交通政策課 新潟交通株式会社 |
| 参加者 | 13名 |
| ●会議内容 | |
| <p>(1) これまでの説明の概要について（新潟市説明）</p> <p>(2) これまでの意見等に基づいた対応・方針について（新潟市、新潟交通株式会社説明）</p> <p>(3) 9月に実施した試験走行の結果について（新潟市説明）</p> <p>(4) 運行事業協定の組み立てについて（新潟市説明）</p> <p>(5) 質疑応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言</p> <p>★発言者1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3で、はみ出しすることが分かっているとのこと。普通の道路で2車線くらいしかないところに1車線占有して、さらにはみ出すので、我々が並行で走っていて、頭あるいはしっぽの方が一般車両と接触した場合には、どういう処置になるのか。安全のために車線を見ながら、お互いがはみ出さないように走っている。それで信頼が保たれていると思うが、はみ出すと分かっているわけだから、新潟交通はこれでいいのか。警察に言って、内側にゼブラゾーンなど、はみ出さないような車線を描いてもらうのか。 <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、バスにドライブレコーダーといって、走行中のバスの車内の環境、道路の環境を、ビデオとして記録するシステムがある。バスの走行に支障がある箇所、渋滞の箇所について、今後は道路管理者、交通管理者へ情報提供をし、走行環境の改善を図っていただくよう努めていきたい。 <p>★発言者1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えになっていない。バスが線をはみ出して走る。そこに、一般車両と横っ腹がぶつかったり、頭からぶつかったりした場合、どうしてくれるのかと聞いている。新潟交通には交通処理係に元警察官とか、そういうプロを置いてあることぐらいは、昔から当たり前のことなので承知しているし、今説明したレコーダーで線を見ながら、これはあなたがぶつかったのだから全部なおしなさいとか、反対もあるだろうが、はみ出してぶつかったらどうするのかお聞きしている。 <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういった事故等があれば、現場での交通管理者による処理になると思うが、そうならないように、日々安全に努めていくということが常々であり、そうい | |

う箇所解消に努めさせていただく。

★発言者1（男性）

- ・全然答えになっていない。山奥で「がけ崩れ注意」などといって通った方が悪いのか、崩れるのが分かっているのに直さない国が悪いのか、みたいなもの。分かっているのに直さない。新潟交通の運転手は全部安全運転しているから、基本的には一般の人が悪いと。はみ出したらうちの方が責任をとりますと言ってくれれば、それで安心する。そうならないよう、新潟市にも、あるいは警察にも、レーンをはみ出すのが分かっているのだから、はみ出さないように書いてもらいますとか、言えないのか。

●新潟交通株式会社

- ・当然、車線が狭いということではみ出してしまうといったことについては、道路管理者、交通管理者に話をして、改良をお願いしていくというのは当然の話ではあるが、社内においても、注意すべき危険箇所といったものは日々の教育の中で運転手にも徹底して、安全第一で走るように指導を繰り返している。

★発言者1（男性）

- ・押し問答しているんじゃない。我々だって、社員に安全運転しろと毎日言っている。バスがはみ出すと言っているのだから、そこにぶつかったらどうしてくれるのかと聞いている。

●新潟交通株式会社

- ・こちらがはみ出したことが原因で相手に接触してしまったという形であれば、事故内容に基づいての処理にはなるが、こちらに過失があるのであれば、当然ながらこちらで責任を持って対処する。

★発言者1（男性）

- ・前にも聞いて答えが返ってこなかったのだが、資料4のBRT車両の中に、連節バス及び一般バスと書いてある。一般バスといったら我々が昔から聞いている頭の赤い銀バスを思い浮かべる。一般バスというのが分からないのだが、3種類できるのかと前回聞いたがだれも返事しないし、今回も一般バスという言い方をしている。

○新潟市

- ・BRTの運行事業協定に関しては、BRTの走行区間ということで、新潟駅から青山をBRTで運行する。そこでは、連節バスに、今、新潟交通が持っている一般の12メートルのバスをカラーリングしたものを加えて、BRT車両として運行するという事。

★発言者1（男性）

- ・一般バスと言われると、我々市民はまだ説明を受けていないから、今、説明を聞いてもまだ分からない。普通の頭の赤い銀色のバス、あれは何というのか。

○新潟市

- ・あれは一般バス。

★発言者1（男性）

- ・（2巡目説明会の資料1で）BRTに連節バスがある。これは仮に赤く塗って

いる。その下に一般バスと書いてあるが、赤く塗ったのも一般バスというのか。今後同じだと言わないで、名前を変えるとかしないと、一般の人は分からない。

●新潟交通株式会社

- ・表現としては、連節バス、BRT区間を走行する一般バス、BRT区間を走行しない一般バスという3パターンであるが、その部分の表現が分かりづらいというご指摘と承りたい。

★発言者2（男性）

- ・みんなが乗り換え地点で全部が降りて、連節バスに乗ると、一般市民は思っているが、これはイオンの前と、市役所のところにそういう場所を設けるのか。全員がそこで降りて、必ずこのバスに乗り換えるのか。一応確認の意味で教えてほしい。

○新潟市

- ・乗り換え拠点としては青山と市役所をターミナルとして整備するが、全部を乗り換えという形でいくかということについては、朝夕のピーク時には一定程度の直通便を設けるということで対応したい。

★発言者2（男性）

- ・昼間、仮に5人しか乗っていないバスは全部降ろして、その連節バスに乗るのか。普通の方はそう思っていると思う。直通で新潟駅まで行くということは思っていない気がする。いっぱい乗っているバスは直通で駅まで行くということは、しっかり説明する必要がある。

★発言者3（男性）

- ・今日の資料は、いつできた資料か。

○新潟市

- ・10月末ごろに全部できたという形になっている。

★発言者3（男性）

- ・会長のところに資料の説明をしないと、市の職員から連絡があったのが昨日。これだけのものを急に見せて、すぐ理解してというのは無理。資料ができた段階で、もっと早めに連絡があれば、私たちも十分理解すると思うが、よほど頭がよくないと、私たちは突然見せられてもわからない。あなた方の目線が、どこか違うところを向いているから、私たちの目線と合うようにしてほしい。
- ・新潟日報 10月16日の「窓」に、「BRT導入住民投票を望む」という投書があった。私たちは（連節バス試乗会で）乗ったときのアンケートの結果について、どうするというのは聞いていなかった。それを突然、「皆さんが良好だ」というふうに新聞に出されたので驚いた。どうしてこんなことするのだろうと、市会議員の知人に言ったら、ばかやろうと言っていた。アンケートを聞くとしたら、中立の人を入れてやらないと、「お前たち勝手に改ざんしたんじゃないか」と言われたら、どういう言い訳をするのか。結果を言わなければよかった。言ってしまったものだから、市会議員の方も怒っていた。なんてばかな

ことをするのだと。この結果について中立性が保てない。するならば最初から言っておけばいいと思う。

- ・市民、特に沿線の人々の意見をもう少し聞かれたらいいと思う。コミュニティの会長さん方と会う機会があって、どうだろうと聞くと、大体のところは今の状況だとだめだと言っている。何がだめかという、皆さん方の説明不足。説明していても分からない説明をしている。あなた方だけ分かる説明で、私たちはいきなりこんな資料を見せられても分からない。お願いしたいのは、十分に練ってから、急がないでもらいたい。賛成だとか反対だとかという意見ではなく、ただ、分からない。もっと十分な説明をしてほしい。
- ・このままやっていると、この本数を維持したいということで空車が走ることが目に見えている。中央区の女性の方だが、やはり「民意を反映していない。市ばかり突っ走って、全然民意が反映されていない」ということだった。それから「財界にいがた」が非常にうまくまとめた。まず税金の使いすぎ。なぜ市が民間を助けるのだ。なぜ連節バスが必要なのか。こんな高いバス。それから専用の走行路を作らないのであれば、普通のバスと変わらない。「市民不満爆発、BRT全区説明会のレポート」にそんなことが書いてあった。私はやれとかやらないとかいうのではなく、もう少し皆さん方、市民に知らしめてからやってほしいと思う。急がないでもらいたい。今までの市の事業、ローサ、プラーカ、そのほかいろいろあるが、みんな失敗している。税金の無駄遣いになっている。だから、そういうことのないようにお願いしたい。

★発言者2（男性）

- ・関連の質問だが、アンケートをとって、それが市報に掲載された。はっきりした数字は分からないが、アンケートの質問の項目で、「連節バスの乗り心地はどうか」という質問に、80パーセントが乗り心地がいいという回答が出ていたと思う。1億円もするバスで乗り心地が悪ければ、だれも乗らないと思う。80パーセントの方が乗り心地がいいのだから、非常にいいバスだというような、そんなふうなPRの仕方が載っていた。何となく新潟交通に有利な質問ばかりで、みんなが賛成しているようなアンケート結果を載せていたが、もっと公平な質問でアンケートをとった方がいいと思うので、次回は、「これだけのお金がかかって、これぐらいの稼働率があるが、賛成か」とか、そんな項目があってもいいのではないかと思うので、アンケートをとるようなことがあったら、私の意見を参考にしてもらいたい。公平なアンケートをとってもらいたいと思う。

★発言者4（女性）

- ・新潟駅前の東大通りの中央にハンテンボクというとてもすてきな木があるが、あの木はどうなるのか。木のことが心配で、すごくかわいいお花が咲くので、あれぐらいの木で花が咲くのは珍しいので、木を伐られるととても辛い思いで今日は来た。新潟市は緑が少ない。それでかわいそうだなと思って。もし切られたら大変だという思いで来たが、私の周りにも、あの木は切らないでほしい

という声がいっぱいあるので、聞かせてもらいたい。

○新潟市

- ・導入当初、BRTは今の左側の車線を使う、あるいは歩道側の車線をつかうといったところだが、将来的に専用路の可能性を目指していく中で、真ん中の木の部分をBRTなりLRTになったとしたときに切る必要があるのではないかということ、言われる方がいるが、BRT導入時においてもLRTもそうだが、真ん中の中央分離帯の部分の木を切ってしまうことまでやる必要はないと考えており、基本的には今の道路の形態の中でできるので、あの木というのがBRTによって切られるとか、中央分離帯をとるといったことにはならない。

★発言者5（女性）

- ・新潟市は駅前通りだけが50メートル幅で、そこだけは広い。あとは榎谷小路とか、東中通りとか白山通りとか、中小さまざまな通りがたくさんあるが、それにしても新潟市の道路というのは、緑があって木があって道路が成立というか、もちろん全国的にそうだが、その中でも特に東大通りは30年、40年かけて、駅ができたとき、畑、田んぼだったところに、ビルが建つ前にあの木が植えられ、緑を大事にして育ててきたわけなのに、このバスシステムの専用走行路、将来は新潟駅、古町間で、中央に専用走行路設置を目指すとしてあるが、パンフレットの図では中央路側帯、街路樹がなくなっている。地域・魅力創造部の方は大空が見えて新潟らしいと言うし、市長からは、ほんの一部、試験的に真ん中をちょっと切り取らせてもらおうという答えもあった。まず、都市計画の一番大事な公共交通になる道、道に対する概念というか理念を全然持っていないくて、今いる人たちが今やることをやればいいのだと、将来はまた別の人が考える。今回のシステムも気になるが、そういうことでは、木は今日明日で育つわけではないし、まちは今日明日でできるわけではないので、大事なところは大事にしてほしいということで、礎町のけやき並木もあるが、まちというのはそういうものだということをもっと認識して、ここでこういう計画はストップしようとか、別のほうに弾力的に変えようとか、そういう力のある新潟市の行政であってほしいと思う。

★発言者3（男性）

- ・12月に新潟市議会が始まる。そのときに市長はBRTについて何か動きがあるのか。何か上程するようなものがあるのか。

○新潟市

- ・BRTの連節バスを4台購入することについての議会に上程をする予定。

★発言者3（男性）

- ・議会でそれが承認されれば、（連節バスを）入れるのか。すぐに。

○新潟市

- ・そういうことになる。

★発言者3（男性）

- ・そうすると、私たちの理解度がまだ非常に低い段階で、あるいは住民にもう少し意見、投票してみたらどうだということは、無視されるのか。

○新潟市

- ・住民投票という「窓」欄の話があった。こういう政策をするとき議会制民主主義の中なので、どういうふうにするかは、基本的には議会が決めるということ。例えば住民投票をやったときに、今、マイカーで動くという方が7割という中で、公共交通に対する説明、投票ということをやったとしても、それが正しい将来の姿につながるとは必ずしもない可能性があるということ。将来を見据えた中で、どういう判断をするかというのが議会の役目だと思っているので、そこで議会が賛否をとって、それでいくという話であればいくということだし、だめだということであれば、そこで考え直すということ。

★発言者1（男性）

- ・そのとき入札は終わっているのか。

○新潟市

- ・入札は終わっているが、仮契約という形でないと上程できないので、仮の契約という形になる。

★発言者3（男性）

- ・住民が反対しても議会がよければいいのか。今の議会の制度からして。

○新潟市

- ・議会制民主主義なので、議会は住民から選ばれた代表ということであり、議会で決めるということになっている。

★発言者3（男性）

- ・演説会で市議会の方々がBRTの話をしたのを聞いたことがない。BRTの話は、最初は幽霊みたいな形で出てきて、後になって、だんだんはっきりしてきたみたいで、BRTがうんぬんというところまでいかないうちの選挙であって、今、それを市民に本当に問いかけたときに、市民の方が反対だったらどうなるのか。例えば議員が先に選ばれた、その時点ではBRTの話がなかった。BRTの話が出てきた。議員だけでやりましようと言った。市民は反対だと言ったらどうなるのか。

○新潟市

- ・私どもは何とも言えない。

★発言者3（男性）

- ・あるところで、議会が賛成した。首相のところにおいて、「私の村は賛成だ」と。そうしたら住民はそんなこと聞いていないものだから、その人が首相のところから帰ってくるなりつるし上げられて、やっぱりやめたということがあつた。住民の理解を得ない議会なんていうのは意味がないと思う。あなた方に言って、処理できる問題なのかわからないが、今の問題はどうもそれに近い。
- ・プラーカの問題とか、だれも責任をとっていない。議会が承認して議会がやって、あとで市民の血税でみんな尻ぬぐいしている。そういうことを見ているか

らいやだと思う。

○新潟市

- ・今の制度の中ではそういうふうになっているとしか申し上げられない。そういうご意見があったということは、帰って上に伝えたいと思う。

★発言者3（男性）

- ・私もどうしようもないだろうとは思っているが、議会というのは責任の所在がどうなっているのだろうといつも思う。プラーカのときもローサのときも、住民の血税をたれ流しした。新潟市民の感情からすると、新潟市がやることはみんな失敗すると、残念ながら思っている場合が多いのではないか。

★発言者5（女性）

- ・議会というのは自分たちが選んでいるから、議会の責任というよりは市民の責任だということになるのだろう。でも、篠田市政になってから、イベントなどは最初すぐまちを元気にしようと思っいろいろなことをやられたが、それはそれでまちを元気にという、一翼を担ったと思う。ただ、行政の責任はないのか。政令市になってから、自治協議会と地域コミュニティ協議会、そして町内会を新たに組織した。その中で、企画を提案してそこで話し合ってもらって審議したり、それを市民に下ろしたり、そういうことのためにこの組織が作られた。しかし、それは、あまり利用されていない。利用しても上から下へ、企画しても自治会とかはまだ熟していないから、「ああそう」ぐらいで終わってしまう。そういう行政責任というのは、どのように考えたらいいのか。それは行政責任だと思う。
- ・BRTについては市民がまだ民意として伝わっていない、知らないこともあるということは、やはり行政責任ではないか。議員の責任とか、市民の責任ではなく、企画すること自体がうまくいっていない。

○新潟市

- ・今日ご説明させていただいたが、なかなかまだ理解が進んでいないということについては、私どもの説明不足という部分は否めないと思うので、今後、説明が十分にできるように、進めていくのが私どもの責任だと思っている。

★発言者1（男性）

- ・言葉の揚げ足をとっているわけじゃないが、これ（資料1）を配って読んでおくと、これと同じ。読んでおけというなら、先ほど話が出たように、2、3日前に配って、これで疑問が解決しましたかということだろう。ほとんどみんな読まない。そういうものだ。担当者が配って、回答をやったと。8時30分までだがあと30分延長して、これを全部読んでもらいたい。
- ・資料1、3ページの6④、除雪の件だが、榎谷小路や東大通りは車がたくさん通るし、ある程度ざっとすれば雪は消えるが、白山の旧電車通りとか、青山の橋の上だとか、普通の車でもあそこはスリップして大変な場所。今年は溶かしてみせるとかいわなくてもいいが、市と連携をして除雪をきちんとやるということを見せるとか、力強い言葉をもらいたい。

○新潟市

- ・除雪の体制というのは、今年度もいろいろと強化していくという話では聞いているが、今回、BRTを入れるに当たって強化するということに、除雪の機械の整備もあるので、一概にBRTが開業するときと同じような状況でできるといふことにはならないかもしれないが、可能なかぎりしっかり対応したいとは、道路管理部局から聞いている。

★発言者1（男性）

- ・新潟市とは関係なく、国道は国土交通省が除雪するのか。5センチの基準と10センチの基準があるが、BRTはずっと駅から青山まで行く。それを責任もって走らせるのだから、責任を持って除雪しなければいけないのではないか。白山駅の角5軒くらいみんな立ち退きさせて、これから壊すのだろう。角の喫茶店はじめ3軒、4軒。あれはBRTを出し入れするためなのだろう。

○新潟市

- ・BRTが入る前から、元々白山駅周辺整備計画の中でできていた。

★発言者1（男性）

- ・それはいいが、白山駅にBRTが入って、だれが乗り降りするのか。青山からあそこの駅を使う人は、駅から駅まで乗る。新潟駅に行く人は、白山駅からわざわざ降りて新潟駅に行かないし、JRが走っているのに、あそこは学生がいっぱいいるが、BRTの乗り降り、連節バスのこと、普通のバスでも大きい、あそこに価値があるのかなという気がする。

○新潟市

- ・新潟駅から市役所、白山駅につながるということについては、平成22年にやった学識経験者とか関係機関とか、地元のいろいろな商工会の代表などから入っていただいた検討委員会の中で、白山駅までつなげることによって西の方から越後線を使って古町方面に向かう方の入り口として、そこからバスに乗って行っていただくということができるのではないかとということで、白山駅の提案があった。

★発言者1（男性）

- ・それは違う。元々BRTは、新潟駅から白山駅までか、当初の予定は。それが青山まで延びたのだろう。

○新潟市

- ・最初は市役所だった。それが白山駅まで。

★発言者1（男性）

- ・22年度のときの学識経験者は、ばかの集まりだったな。先が見通せない。様子が変わってきたから変わったんだと言えればいい。では学識経験者のせいだな。
- ・雪道の意気込みを聞かせてもらいたい。除雪について。

○新潟市

- ・きちんと国土交通省と連携をとって除雪できるようにやっていく。

★発言者6（男性）

- ・雪のけで言うと、必ず山ができる。そしてバス停のところもそうで、降りてくるときにも滑る。あれは新潟交通に何とかしてもらわないと危ない。

○新潟市

- ・大雪のときの排雪の体制というのは、整えていきたいと考えている。

★発言者6（男性）

- ・バス乗り場のところに山がある。それをちょっとよけてやらないと、それは除雪車はやってくれない。

★発言者5（女性）

- ・そういうことがいろいろあるのに、それを一つ一つ具体的に今までの実態を見たり、検証したりしないで、これから協定を結んで、市はすべて私たちの税金で無償で提供して、サービスを全部新潟交通に頑張ってもらおうというが、そのサービスが今はゼロではない。まだマイナス50、100くらい。それがゼロにいくまでに何年かかるか。

●新潟交通株式会社

- ・バス停の除雪については、日ごろから憂慮している。社員数もかぎられ、できているところとできていないところがある。基本的にはサービスレベルを一斉に一律に提供するといった意味では、道路管理者である方々に、平等性において除雪をしていただきたいと、強く今後も繰り返しお願いをしていくという形になる。

★発言者5（女性）

- ・実態が分かっていないから、市民を金のなる木だと思って、湯水のごとく使っている。

★発言者3（男性）

- ・この紙（資料1）を、9時まで、走り走りでいいが説明してもらえないか。資料1からずっと読んで、上手に説明してほしい。

～～～出席者の要望により、資料1を説明～～～

★発言者1（男性）

- ・4ページの8の②だが、BRTに乗り換えると料金は二重じゃないかということには、乗り換え運賃はないという説明で、ICカードであればそれを管理するというような、上っ面な説明しかないが、文章がどういうことか、新潟交通に説明してもらいたい。新潟交通の話だと、りゅーとカードだと乗り換えがかからない、管理ができるということ。でも今は、どこに行ってもSuicaだけ。東京に行くときにSuicaがないと動けないけれど、Suicaだと利用できないのか。この3行の意味がよく分からない。

●新潟交通株式会社

- ・Suicaをはじめとした交通系のICカードについては、現在と同じように

BRTでも精算の手段としては使える。ただ、乗り継ぎをSuicaで精算することはできない。

★発言者1（男性）

- ・使えるけど、乗り継いだら料金が200円が300円になるのか。

●新潟交通株式会社

- ・そうならないようにするということが、今はSuicaではできない。

★発言者1（男性）

- ・発車するとき（BRT導入時）には間に合うのか。

●新潟交通株式会社

- ・システム上非常に難しいと考えている。

★発言者1（男性）

- ・高くなる、二重払いするならできるとか、利用者側から見ればそんなものできると言わない。Suicaでは200円払って、乗り換えでもう1回200円払ってと、そんなものできると言うのか。

★発言者2（男性）

- ・今、新潟市の方から説明を聞いて、非常にいい案だなと思った。このとおり進んだら本当にいい計画。交通弱者に対する財政支援など、一般市民はみんな賛成するが、このとおりにいくかといったら、何となくいかないような気もするし、いってもらいたいと思う。はっきり言って、新潟交通は、これがうまくいかなかったら給料が下がるのだから、その辺も踏まえて、しっかりエールを送りたい。頑張る。そのかわり、だめなときはどうするかという話になるとまた面倒だから、これは言わない。反対のときには反対しなければだめだし、非常にいいプランなので検討してもらいたい。

※ 説明会で出していただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきました意見書で、以下のようなご意見をいただきました。

○これまでの説明について

- ・本当に便利になるのか。（新聞を読んでいるが）まだまだ理解出来ない状況。
- ・市民に、BRTの説明会を市報にいがたに載せるなど、もっと広く知らせてほしい。全く説明会があるということを市の方からはきいてない。住民の知る権利もあると思う。
- ・なぜ、一企業に多額なお金を出すのか。小型バス、タクシー会社にも補助して欲しい。

○その他

- ・郊外バスが1日に2～3便に、又は廃線が多くなっている。車を持たず、バス・電車（公共機関）を利用するほかに方法のない人間に取って、とても不便を感じている。例えば、曽根へ行く場合、JR（越後線はよく止まる）が不通になっ

た場合、以前は乗り継ぎで行くことが出来たが、今は本当に不便になった。利用者の立場で考えて。

- ・東大通りの中央分離帯、その他の樹木を切らないでほしい。
- ・税金の無駄使いはやめて。西堀ローサ、プラーカなど、税金の無駄使いだったと思う。BRTも無駄使いになると思う。

以上